令和8年８月6日

令和8年度　学校関係者評価委員会報告書

学校法人大原学園

金沢ウエディング・ビューティー専門学校

学校関係者評価委員会

令和8年度の学校関係者評価委員会を開催し、金沢ウエディング・ビューティー専門学校の令和7年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施しております。

１．日時

令和8年８月6日（木）１４：００～１５：００

２．出席者

（１）学校関係者評価委員

小山　康晴様（同窓会会長）

三納　昭博様（同窓会副会長）

（２）事務局

金子　秀安　（大原学園金沢校　校長）

松本　府美江（大原学園金沢校　副校長）

山田　真弓　（大原学園金沢校　次長）

竹川　正則　（大原学園金沢校　顧問）

垣地　正樹　（大原学園金沢校　顧問）

３．会議録

（１）挨拶　大原学園金沢校　学校長　金子　秀安より

挨拶、職業実践専門課程の趣旨説明、学校の運営状況などの報告を行った。

（２）令和7年度自己点検概要報告

令和７年度における自己点検・評価について、全般的に良好な結果であったことが報告された。

（３）重点項目報告および学外委員からの助言

重点項目について報告を行い、学外委員より評価・助言をいただいた。

4. 令和７年度

（1） 重点目標１

実践的な知識習得

＜現状・達成指標＞

各種資格取得や就職実績については一定の成果を上げており、企業等との連携による実践的な教育を推進している。一方で、業界の技術やニーズは急速に変化しているため、教員の専門性向上や教育内容の継続的な見直しが求められている。

＜具体的方策＞

企業等と連携した教員研修や情報収集を継続するとともに、最新の業界動向を教育内容へ反映する。また、資格取得だけでなく、実践的な課題や企業連携授業を通して、社会で即戦力となる人材の育成を推進する。

（2） 重点目標２

退学率の抑制

＜現状・達成指標＞

退学率は改善傾向にあるものの、精神的な不調や人間関係を理由とした相談が増えている。学生の小さな変化を早期に把握し、担任・管理職・保護者が連携した支援を継続している。

＜具体的方策＞

担任を中心とした面談や保護者との連携を継続するとともに、学生アンケートや日常のコミュニケーションを通じて早期対応を図る。また、必要に応じて外部機関との連携も検討し、学生一人ひとりに応じた支援を行う。

＜学校関係者評価委員からの提言＞

①近年は精神的な不調や不登校傾向の学生が増えているため、引き続き早期発見・早期対応を徹底し、保護者とも連携しながら学生支援を進めてほしい。

②担任だけで抱え込まず、学校全体で情報共有しながら支援を行う体制を継続してほしい。

（3） 重点目標３

保護者との連携強化

＜現状・達成指標＞

欠席超過や就職活動等で問題がある学生について、保護者と連携して対処している。

＜具体的方策＞

ポータルサイトや保護者説明会を活用し、学生の学習状況や就職活動等について情報共有を継続する。また、保護者が安心して学生を支えられるよう、早い段階から相談しやすい体制づくりを進める。

＜学校関係者評価委員からの提言＞

①保護者への情報提供は学生支援において非常に重要であるため、ポータルサイトや説明会を活用しながら、今後も積極的に情報共有を行ってほしい。

②保護者が学校の教育方針や就職活動の流れを理解することで、学生への支援にもつながるため、引き続き連携を強化してほしい。

６．学校関係者委員会総括

委員からは、本校の教育活動や自己点検・自己評価の内容について、おおむね適切に実施されているとの評価をいただいた。

特に、資格取得や就職支援、企業と連携した実践的な教育、保護者との情報共有、退学防止に向けた学生支援について意見交換が行われ、教育成果の向上に向けた取組を継続していくことが重要であるとの確認がなされた。

また、少子化や就職環境の変化、教育内容の高度化に対応するため、企業や地域との連携をさらに強化するとともに、教員の資質向上や教育内容の改善を継続していく必要があるとの意見があった。

今後も教育課程編成委員会および学校関係者評価委員会等でいただいた意見を教育活動へ反映し、教育の質の向上と学生満足度の向上に努めることを確認し、職業実践専門課程に係る学校関係者評価委員会を終了した。

以上